

平成27年度学校目標設定報告書

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<p>〈教育課程〉 生徒のニーズに合わせ、カリキュラムを精選し、教育課程の一層の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「高等学校基礎学力テスト」体制および生徒・保護者の進路希望を視野に入れ、カリキュラムの改善を検討する。 ・教科指導の充実を図る中で、学校設定科目「技能審査」の単位認定者の増加を目指す。 ・教育内容に対する生徒・保護者のニーズを、継続して把握するように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな教育課程の編成が検討できたか。 ・学校設定科目「技能審査」による単位認定の件数の増減。 ・ニーズ調査が実施できたか。
<p>〈生徒指導・支援〉 (1) 社会人としての基本的資質を育成し、「いのち」を大切にす教育を実践する。 (2) 生徒一人ひとりの行事・部活動・委員会等への意欲的な参加と意識の向上を支援し、部活動の一層の活性化を図る。</p>	<p>(1) ①挨拶指導、遅刻指導、身だしなみ指導、授業中のマナー指導等を通じて、思いやりの心を育成し、基本的な生活習慣の確立を目指す。 ②登下校時の交通安全指導等をおとして、「いのち」の大切さを理解させるとともに、日常的な校内巡回、立ち番を行い、全職員の共通理解のもと、きめ細かな指導を実践する。 ③生徒理解等の機会として二者面談・三者面談を実施する。 ④いじめ防止のため生徒対象に、「学校生活に関するアンケート調査」を実施し、結果を踏まえ速やかに対処する。</p> <p>(2) ①ボランティア活動への参加を呼びかけ、ボランティア活動への参加者の増加を目指す。 ②部活動への加入を促し、地域や他校との交流を深め、部活動の充実を図る。 ③美化委員会を中心に校内美化活動を推進し、生徒一人ひとりの公共性を育む。 ④図書委員会・放送委員会等を活用して、生徒会活動の充実を図る。</p>	<p>(1) 年間の遅刻指導計画と実施の有無。立ち番や巡回等の実施状況。個別面談や三者面談の実施状況。「学校生活に関するアンケート調査」を踏まえ、速やかな対応ができたか。</p> <p>(2) ボランティア活動や学校行事、部活動等への生徒参加状況。 ・部活動加入率は増加したか。 ・地域や他校との交流が深められたか。 ・美化委員会による清掃状況の確認を行ったか。 ・各委員会への生徒参加人数や各行事との連携の状況。</p>
<p>〈学習指導・授業改善〉 (1) 生徒一人ひとりの学習に対する意欲関心を引き出し、思考力・判断力・表現力等を育み、協働する授業づくりに取り組む。 (2) 基礎学力の定着を図り、家庭学習を確立する。</p>	<p>(1) ①組織的な授業改善を進めるために、小・中学校との間で研究授業や公開授業を相互に位置づけ、学校全体で取り組みを進める。 ②職員一人ひとりの授業力向上を図るとともに、学校全体・授業担当者間で身につけさせたい学力について、共通理解を深める。 ③「わかる授業」「わかりたくなる授業」のために教材・教具等を工夫する。 ④授業中の早朝や放課後および長期休業中の補習・講習を充実し、学力の定着と向上を図る。 ⑤「高等学校基礎学力テスト」への対応が可能な学力養成の方法について、検討をすすめる。 ⑥外部試験の結果を各教科の指導内容にフィードバックさせ、基礎学力の定着と向上を図る。</p> <p>(2) 年間をおとして課題や小テストを課し、生徒の学習意欲を喚起して、家庭学習の習慣を確立させる。</p>	<p>(1) 研究授業や公開授業を組織的に実施できたか。 補習・講習の実施状況と参加人数。外部試験の結果を基に、身につけさせたい学力について、共通理解が深められたか。共通テストの実施に伴い、共通の教材や資料を開発することができたか。高等学校基礎学力テスト（仮称）への対応が可能な学力養成の方法について、検討できたか。</p> <p>(2) 年間をおとして、自宅でできる課題を生徒に与えたか。 年間の小テストの回数。</p>

<p>〈キャリア支援〉 キャリア教育をさらに推進し、生徒一人ひとりに応じた支援を充実させ、生徒の望む進路実現を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・専門学校と連携し、生徒・保護者のニーズに応える進路ガイダンスの見直しを図る。 ・企業開拓を進め、企業訪問やインターンシップを拡充する。 ・生徒の進路意識の向上の一環として、外部試験等を実施し、必要な情報を基に進路・進学指導を行う。 ・「総合的な学習の時間」の中で、「進路の手引き」や進路資料等を活用して、将来の「生き方」「あり方」について考える時間や機会を設けるとともに、コミュニケーション力の育成を図る。 ・家庭で進路への意識を高めてもらうため、保護者向けの進路講演会の内容を刷新し、保護者への適切な進路情報の提供などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンスを改善し、実施後、面談等とおし、各生徒に応じた指導ができたか。 ・企業訪問、インターンシップの参加人数や内容は改善がみられたか。 ・外部試験等を実施、結果について振り返させる時間を設けたか。 ・「総合的な学習の時間」の中で、将来について考える時間や機会を設けたか。 ・「進路の手引き」を活用できたか。 ・保護者向けの進路講演会の内容を刷新し、適切な進路情報提供ができたか。
<p>〈地域等連携〉 保護者や地域社会等との連携による学校教育活動を一層充実させ、地域に根ざした学校づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生に対して、本校の広報活動アンケートを実施し、中学生のニーズを把握する。 ・学校説明会や中学生向け体験授業を実施し、本校教育活動の周知に努める。 ・ホームページやPTA 広報誌等で本校教育活動の周知に努める。 ・近隣小中学校や地域の催し等に生徒が参加し、地域との連携に努める。 ・地域の様々な組織と連携し、地域の教育力を本校教育活動に積極的に活用する。 ・インクルーシブ教育の観点にたち、高津養護学校分教室と体育祭や文化祭などの行事等での連携・協働をすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校広報活動アンケートが実施できたか。また、アンケート結果を分析し今後の広報活動の改善をおこなうことが出来たか。 ・学校説明会及び中学生向け体験授業の参加者に対し、本校教育活動の周知が十分できたか。 ・ホームページを定期的に更新したか。 ・近隣小中学校や地域の催し等に参加した回数と参加した生徒の人数。 ・地域教育機関、施設と交流・連携できたか。 ・高津養護学校分教室と連携・協働できたか。
<p>〈学校運営・学校管理〉 効果的な事故・不祥事防止研修を実施し、教職員の危機管理意識を高めることで、円滑な学校運営を推進して事故のない信頼される学校づくりを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故不祥事を未然に防ぐ校内体制を確立させる。 ・グループ・ウェアを活用し、効率的な打ち合わせ及び情報の共有化を図る。 ・清掃の徹底とゴミの減量及び分別を徹底する。 ・図書館の書籍を充実させ、授業等での利用を図り、さらなる読書活動を推進する。 ・節電・節水等に全校的に取り組み光熱費の縮減に努める。 ・地域と連携して防災教育を実施し、防災への一層の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止のためのチェック体制が確立できたか。 ・グループ・ウェアが有効に活用されたか。 ・ISO14001 の理念に基づいて実践できたか。 ・書籍等の貸出数が増加したか。 ・光熱費等前年度と比較して、縮減したか。 ・地域と連携した防災教育を計画的に実施できたか。
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒の学力の充実・向上に努め、一人ひとりの個性を活かした進路の実現を目指す。 2. 学校生活の充実を図るため、規範意識を高め、地域社会の一員としての自覚ある行動ができる力を育成する。 3. 生徒の澁刺として健康な精神と身体の発達をはかるため、部活動を推進する。 		